

YASKAWA NEWS

No. 353
SPRING 2026

YASKAWA NEWSは
お客さまと安川電機を結ぶPR情報誌です。

特集
p2

展示会出展レポート

「IIFES 2025」

「2025国際ロボット展」

「SEMICON JAPAN 2025」



p8 新製品

MPX1310オプションモジュール搭載モデルと
オプションモジュール8種を発売

YASKAWA 新マシンコントローラ iC9200シリーズを発売
YRMコントローラ YRM1030を発売
Enewell-SOL P3Hを発売

p12 トピックス

MECHATROLINK協会「IIFES 2025」出展報告
MECHATROLINK協会「第11回 機械要素技術展[名古屋]」出展案内

p13 展示会

「PV EXPO [春]」出展案内
「2026 中部パック」出展案内

p15 コラム

陸上部NEWS

展示会出展レポート

当社の製品・技術情報サイト(e-メカサイト)では今回展示した
デモ機の動画を公開しております。是非ご覧ください。
<https://www.e-mechatronics.com/exh/archive/iifes2025/>



オートメーションと計測の先端技術総合展

IIFES 2025
2025年**11月19日**(水)~**21日**(金)
会場/東京ビッグサイト
主催/日本電機工業会、日本電気制御機器工業会、
日本電気計測器工業会
ホームページ/<https://iifes.jp>

2025年11月19日(水)~11月21日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催されたオートメーションと計測の先端技術総合展示会「IIFES 2025」に出展しました。

当社ブースでは、「i³-Mechatronics(アイキューブ メカトロニクス)で新たな価値をリアルな“かたち”に ~自動化を進化させ、データ活用で次世代のものづくり~」をテーマに、「i³-Mechatronicsを実現するYRMコントローラで自動化した生産セル」をメイン展示に、「生産性向上」「省力化」「エネルギー有効活用」の3つのテーマで経営課題を解決する、最新の製品・ソリューションを展示・実演しました。

3日間で4万5千人を超える来場者(主催者発表)があり、当社ブースにも大勢のお客さまにご来場いただきました。今後も装置メーカーをはじめとするお客さまの抱える課題を解決すべく、様々なご提案に注力してまいります。



メイン展示

i³-Mechatronicsを実現するYRMコントローラで自動化した生産セル

電子機器の生産をイメージしたYRMコントローラにより自動化されたセルを紹介しました。6種類のワークを生産するデモンストレーションを実施し、変種変量生産を可能にするYRMコントローラのシンプルなエンジニアリングをご覧いただきました。さらに、収集したデータを基に動きを変えるデータドリブンなシステムも披露しました。YRMコントローラとYASKAWA Cockpitを組み合わせることで、プレス圧を最適化し、「品質の安定化」と「止まらない生産」を実現する様子をご覧いただきました。また、別のエリアでYRMコントローラをはじめとした豊富なコントローラ製品のラインアップを展示し、当社のコントローラへの取組みをアピールしました。



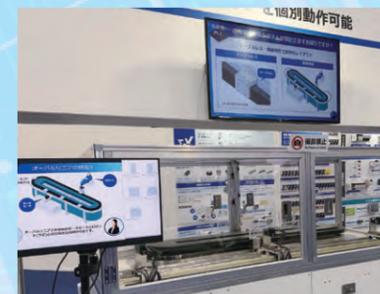
生産性向上

展示会初出展となる最新ソリューションを中心に、お客さまの生産性を向上するモーションコントロール技術を紹介しました。

● 半導体向けソリューション



● オーバルリニアデモ機



● データを活用した異常予兆検知



省力化

省力化に貢献するデータ活用を強化したサーボパックを紹介しました。

● 用途最適形サーボパック (FT54/FT55/FT56)



エネルギー有効活用

省エネに貢献するインバータ製品を紹介しました。

● DCマルチリンクドライブ



● 電源とモータに優しいドライブ



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 事業企画課 TEL：04-2962-5470

YASKAWA

安川電機

YASKAWA
株式会社 安川電機

YASKAWA 安川電機

YASKAWA



iREX INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2025

2025国際ロボット展
2025年12月3日(水)～6日(土)
会場/東京ビッグサイト
主催/日本ロボット工業会、日刊工業新聞社
ホームページ/<https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

2025年12月3日(水)～6日(土)に東京ビッグサイトで開催された「2025 国際ロボット展」に出展しました。

当社ブースでは、「i³-Mechatronicsで新たな価値をリアルな「かたち」に」をテーマに掲げ、お客さまの「コト」の実現を基軸として、i³-Mechatronicsによるソリューションの進化、人作業中心の領域におけるMOTOMAN NEXTの活用事例、ならびに成長市場への最新ソリューションをご提案しました。

本展示会には4日間で15.6万人を越す来場者(主催者発表)があり、当社ブースにも大勢のお客さまにご来場いただきました。

今後も当社の製品・技術をより多くのお客さまに知っていただくため、積極的な提案活動と情報発信に努めてまいります。



●協創が拓く、AIロボティクスの新たな可能性

安川電機の高い作業力を持つロボットと、ソフトバンクが開発・推進を進めるAI-RANが連携し、人とロボットが同じ空間で安全かつ協調して働く新たな社会の可能性をご紹介します。

メイン展示

変種変量に対応するi³-Mechatronics最新提案

今回のメイン展示では「変種変量に対応するi³-Mechatronics最新提案」として、設計情報や作業手順といった「作るモノのデータ」を活用し、ロボット動作の自動生成から現場での自律対応、さらに工程改善までを実現するデモンストレーションを披露しました。製品の種類や生産量に応じた変種変量生産への対応が求められる製造業において、従来の「多品種対応は難しい」という常識を覆し、エンジニアリングの最小化と高品質生産を両立する姿をお見せしました。



AIロボティクスによる進化

周囲の状況に応じて自ら判断・計画を実行しながら、指示された作業を完結させる「自律性」を備えたロボット「MOTOMAN NEXT」の活用事例を紹介しました。

●自律双腕ロボットによる 梱包作業の自動化



●原材料投入ソリューション



●NVIDIA Isaac Sim™/Isaac™ Lab活用による箱詰め作業の自動化



アプリケーションの進化

市場の変化に対応した多彩なアプリケーションを紹介し、製造現場の柔軟な自動化を提案しました。

●高効率・高品質塗装セルシステム & 外観検査



●異種材接合ソリューション(FDF)



●人協働ロボット高トルク ねじ締めパッケージ



●お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 事業企画課 TEL：093-645-7759

展示会出展レポート

SEMICON[®] JAPAN

SEMICON JAPAN 2025
2025年12月17日(水)～19日(金)
会場／東京ビッグサイト
主催／SEMIジャパン
ホームページ／<https://www.semiconjapan.org>

2025年12月17日(水)～19日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された半導体産業における製造技術、装置、材料などが結集するエレクトロニクス製造サプライチェーンの国際展示会「SEMICON JAPAN 2025」に出展しました。

当社ブースでは、「半導体アドバンスパッケージ向け YASKAWAソリューション ～データソリューションで先端半導体製造を支える～」をテーマに、高精度・低振動な搬送を実現するロボットやモーションコントロール製品に加え、「止まらない生産」を支えるデータソリューションをご紹介しました。特に低振動・ノンストレスのウエハ搬送用ロボットをはじめ、ACサーボドライブやマシンコントローラといった当社製品によるスマートEFEMとハイブリッドボンディング装置をイメージさせる実演展示は、多くのお客さまから高い関心を集めました。

3日間で12万人を超えるの来場者(主催者発表)があり、当社ブースにも大勢のお客さまにお越しいただきました。半導体市場のニーズを直接伺うとともに、当社の半導体ビジネスへの取組みを力強く発信できる機会となりました。

今後も安川電機は、多彩なモーションコントロール技術とソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」に基づくデータ活用で、半導体製造の更なる自動化と革新的な工場の実現に貢献してまいります。



ユーザーサポート、アフターサービスについても紹介

メイン展示 低振動搬送システム+超高精度ステージ+データソリューション

スマートEFEMと超高精度ステージおよび6自由度アクチュエータによるハイブリッドボンディングを模した実演をご紹介しました。大気環境向け搬送ロボット「SEMISTAR-GEKKO MD124D」が、EFEMとガントリ装置間で低振動かつ高精度なウエハ搬送を行う様子をご覧いただきました。さらに、この実演機にはACサーボドライブ「Σ-X」やマシンコントローラ「MPX1310」など、当社の主力製品が多数搭載されており、装置の性能を高めるだけでなく、それらが生み出す稼働データ

を「YASKAWA Cockpit」でリアルタイムに収集・分析し、装置の動きを最適化していく仕組みをご紹介しています。これにより、歩留まり向上や品質の均一化が実現できることを訴求しました。

また、株式会社ヒューテック製の全面膜厚測定ユニットとの組合せにより、独立した測定装置を使わずに効率的な膜厚測定とサイクルタイム短縮を可能にするソリューションもご紹介し、ロボットだけでなく様々な製品で半導体製造の進化に貢献できることをアピールしました。



異常検知機能による予防保全

半導体製造では一度ラインが止まると大きな損失につながるため、異常の早期検知は非常に重要です。本展示では、マシンコントローラ「MPX1310」とACサーボドライブ「Σ-XS FT56」で制御されるデモ機に、意図的にばねのへたりなどの異常を加え、その「わずかな変化」をどのように見つけるかを紹介しました。

省エネと小型化を両立した モータ・インバータのセンシング機能

半導体工場ではクリーンルームの清浄度を常に安定させることが欠かせません。その空気循環を支えるのがFFU(ファンフィルタユニット)であり、その内部でモータとファンを駆動しているのがインバータです。本展示では、当社の小型・軽量化とIE5基準の高効率運転を実現した「エコPMモータフラットタイプ」と小型高機能インバータ「GA500」が、このFFUにどのような価値を提供できるのかをご紹介しました。



● お問い合わせ先：営業本部 半導体営業統括部 TEL: 03-5402-4546

更に進化した制御で、お客さまの装置性能と付加価値向上に貢献 MPX1310オプションモジュール搭載モデルと オプションモジュール8種を発売

当社は自動化ソリューションにデジタルデータのマネージメントを加えたソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」を実現するコントローラソリューションを「iCube Control」(アイキューブ コントロール)として新たに展開し、豊富なラインアップをそろえるSLIO I/Oが取付け可能で装置制御に最適なマシンコントローラ「MPX1310」を2024年1月25日から販売開始し好評をいただいています。

近年、お客さまからは装置の機能統合による制御軸数の増加

や、周辺機器との接続、I/O等のラインアップの更なる拡充などが求められています。そこで、機能の拡張や様々なフィールドネットワークによる周辺機器との接続によって多様な情報活用が可能となるMPX1310オプションモジュール搭載モデルとオプションモジュール8種をラインアップに加え、2025年10月30日から販売開始しました。お客さまの装置性能と付加価値の更なる向上を実現します。



マシンコントローラMPX1310 オプションモジュール搭載モデル
(左:1オプションスロット、右:3オプションスロット)



マシンコントローラMPX1310専用オプションモジュール

周辺機器とのフィールドネットワーク 接続による情報活用

通信用オプションモジュールを搭載することで各種フィールドネットワークで周辺機器と接続でき、周辺機器からの多様な情報の活用が可能です。

装置内の環境に合わせた最適な オプションモジュールの選択が可能

システムの規模や装置内の電源環境に応じて、取付け可能なオプションモジュール数や入力電源タイプのラインアップから、最適な選択が可能です。

SLIO I/Oシリーズ対応

種類が豊富なSLIO I/OをMPX1310本体に直接取り付けることで、多彩なシステムが構築可能です。またSLIO I/OはMECHATROLINK-4など各種ネットワークに対応した連結器のバスカプラを使うことでリモートI/Oとして分散配置することも可能です。

主な用途 MPX1310は高速・高応答・制御同期を追求する装置や制御軸数の多い装置に最適です。

- 半導体製造装置：
モールド装置、ダイボンダ
- 液晶製造装置：
スクライバ、シールディスベンサ
- 電子部品組立装置：
チップマウンタ、はんだ印刷機
- 金属加工機械：
サーボプレス、巻線機、ばね製造装置
- 産業用ロボット：
パラレルリンク、水平多関節、垂直多関節
- 二次電池製造装置：
ロールプレス、セパレータ製造、電極層製造

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 事業企画課 TEL：04-2962-5470

IEC 61131-3に準拠、EtherCATを採用 新マシンコントローラ iC9000シリーズを発売

当社は長期経営計画「2025年ビジョン」に掲げている「新たな産業自動化革命の実現」に向け、これまでの自動化ソリューションにデジタルデータのマネージメントを加えたソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」を2017年に提唱し、そのコンセプトの実現に向けた製品開発を強化しています。このi³-Mechatronicsを実現するコントローラソリューション「iCube Control」の新たなシリーズとして、国際規格化されたPLC言語 IEC 61131-3に準拠するとともに、グローバルに広く普及しているモーションネットワークのEtherCATを採用したマシンコントローラ「iC9000シリーズ」を展開します。その第一弾として、マシンコントローラ「iC9200」モデルのiC9226M-ECとiC9226M-FSoE(機能安全対応)の2機種を2025年12月6日から販売開始しました。

今回製品化した「iC9000シリーズ」は、グローバルで標準化された技術をベースとすることでプログラミングが容易に行えることと、多様な装置・用途に適用可能な汎用性を持つことを目指した「iCube Control」のもう一つの柱となるシリーズです。

当社が持つ高度なモーション制御技術と機能的なアプリケーション開発環境、そして、機能安全への対応などにより、グローバルで広くお使いいただける製品であるとともに、お客さまの装置の更なる付加価値向上を実現します。

マシンコントローラ iC9000シリーズ



iC9226M-EC

iC9226M-FSoE(機能安全対応)

国際規格化されたPLC言語 IEC 61131-3への対応

アプリケーションプログラム開発言語として、IEC 61131-3規格で規定されたラダーダイアグラム(LD)、ファンクションブロックダイアグラム(FBD)、構造化テキスト(ST)、シーケンシャルファンクションチャート(SFC)をサポートし、PLCopenのMotion Control FBライブラリを使用してモーション制御アプリケーションのプログラムが作成可能です。

モーションネットワーク EtherCATを採用

モーションネットワークとしてEtherCATを採用しており、最小通信周期500μsでサーボ、インバータ、I/Oといった多様な機器を接続可能です。当社 のACサーボサーボドライバ「Σ-Xシリーズ」との組合せにより、サーボ性能を最大限に活用したモーション制御アプリケーションを実現できます。

SLIO I/Oシリーズに対応

当社の「YRM1030」や「MPX1000シリーズ」と同様に、種類が豊富なSLIO I/OをiC9200本体に直接取り付けることで、多様なシステムが容易に構築可能です。

機能安全に対応

iC9226M-FSoEは、安全PLCの機能を搭載しているとともに、Safety over EtherCAT(FSoE)に対応し、EtherCATの機能安全デバイスも使用可能です。SIL3*に対応した安全プログラミング環境が統合されており、安全部および非安全部のロジックとモーションを一つのエンジニアリングツール(iCube Engineer)でプログラミングできるため、機能安全システムを容易に構築できます。システム構築には、多種多様な安全機能に対応する当社「Σ-Xシリーズ」のアドバンスドセーフティモジュールASM-Xや「SLIO I/Oシリーズ」のSafety I/Oが使用できます。

*Safety Integrity Leveの略。産業機器においてはSIL3が最高の安全度。

主な用途 iC9200は多機能化が必要な装置や機能安全を求める装置に最適です。

- 加工装置：
サーボプレス、射出成形機
- 産業用ロボット：
パラレルリンク、ピックアンドプレース
- 包装装置：
包装機、ケースパッカー、計量機、オートラベラー
- 液晶製造装置：
シールディスベンサ

※本文中の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 事業企画課 TEL：04-2962-5470

自動化されたセルを容易に構築し、生産性の向上に貢献 YRMコントローラ YRM1030を発売

当社は、自動化ソリューションにデジタルデータのマネージメントを加えたソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」を実現するコントローラソリューションを「iCube Control」として展開してきました。2024年1月24日から販売を開始したYRMコントローラ「YRM1010」は、装置やロボットなどで構成されたセルを制御すると同時にデータを収集・解析し、その結果を制御にフィードバックする機能が好評をいただいています。

一方で、多くの生産現場では、装置単体は自動化されていても

装置間のワーク搬送や段取り替え作業の多くがまだ人手によって行われています。この課題に対して、装置とロボットからなる自動化されたセルを容易に構築するための機能を新たに開発し、この機能を搭載した「YRM1030」を製品化し2025年11月13日から販売を開始しました。

YRM1030と当社の得意とするロボットによって、お客様のセルの自動化を推進し、その先の更なる付加価値の向上を実現します。



YRMコントローラ YRM1030

主な用途 YRM1030は装置やロボットから構成された自動化されたセルの構築に最適なコントローラです。

容易なセル構築

多数の装置から構成される製造工程を、YRM1030とロボットによって装置間をつなぐことで、容易に自動化したセルとして構成することができます。セルを自動化することは単なる省人化にとどまらず、その先の生産性向上を達成するための重要なステップの一つです。

製造方法をデータで管理

YRM1030は、生産品種ごとの製造工程と各工程の作業をレシピデータとして管理し、これに基づいてセル内の装置、ロボットを制御します。生産品種の追加や仕様の変更がある場合も基本的にレシピデータの追加や変更で済むため、プログラムの変更を最小限に抑えることができます。

セル内のデータ収集

セル内の装置やロボットのデータを統合・収集、時間を合わせて自動的にYASKAWA Cockpit(YCP)に格納します。

YCPで解析したデータを制御へフィードバック

YCPでデータ解析した結果を、YRM1030の制御にフィードバックできます。それにより、セルの可働率や生産品の品質向上に貢献します。

エンジニアリング環境として「YRM Studio」を提供

直感的なユーザーインターフェースでセルの構築とレシピデータの作成をサポートします。

SLIO I/Oシリーズ対応

SLIO I/Oは、種類が豊富かつ非常にコンパクトなI/O製品です。SLIO I/OをYRM1030本体に直接取り付けすることで、多彩なシステムが構築可能です。またSLIO I/Oは、各種ネットワークに対応した連結器のバスカプラを使うことでリモートI/Oとして分散配置も可能です。

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 事業企画課 TEL：04-2962-5470

更新需要に対応した太陽光発電用パワーコンディショナ Enewell-SOL P3Hを発売

2012年のFIT(再生可能エネルギー固定買取制度)導入以降、太陽光発電設備は急速に普及しましたが、設置から10年以上が経過した現在、パワーコンディショナの更新需要が本格化しています。このような背景の中、当社製品Enewell-SOL P2シリーズが2025年にJET認証*1期限を迎えるため、後継機種種の市場投入は急務でした。

さらに、近年は系統連系技術要件*2の変更、EMI規制*3強化など、パワーコンディショナ更新時に求められる条件が複雑化しており、後継機種にはそういった要件対応も求められます。

こうした課題に対応し、既設設備のスムーズな置換えを可能にするため、最新の要件に準拠した三相200V級太陽光発電用パワーコンディショナ「Enewell-SOL P3H 9.9kW/10kW」を開発し、2025年11月7日から販売を開始しました。本製品は自家消費の市場にも適用できるよう、既存製品にはなかった自家消費機能も追加しています。



Enewell-SOL P3H 9.9kW/ 10kW

10kW級既設パワーコンディショナの更新に適した仕様

● 9.9kWと10kWの2容量をラインアップ

FIT制度開始当初に需要の高かった9.9kWと10kWの2容量展開により、設備容量変更の手続きをせずに、パワーコンディショナの更新が可能です。

● 既存製品のP2A/P2Hと同等の外形サイズ

P2A/P2Hと同等の外形サイズにより、設置場所の再検討をせずに置換えが可能です。取付けねじ位置も同一です。また、PV1000からの置換え用途には、別売オプションとしてアタッチメントを準備しています。

● 幅広い入力電圧範囲

P2Aと同等の広い入力電圧範囲により、太陽電池回路の組替えなしで置換えが可能です。

● 大出力の自立運転機能を標準搭載

P2A/P2Hと同様に、自立運転でも系統連系時と同等の出力容量(三相200V線形負荷時)を確保でき、単相での使用も可能です。

● 他社製品の更新にも対応

他社製品の置換えも別売オプションのアタッチメントを使用することで容易に対応できます。

※1 日本の第三者機関である一般財団法人 電気安全環境研究所(JET)が実施する、太陽電池発電システムや蓄電池システムの系統連系保護装置等の安全性と性能を認証する制度。

※2 発電設備や需要設備を電力会社の電力系統に接続する際に、電力の安定供給や電力品質を確保するために守るべき技術的な基準。

※3 電子機器が発する不要な電磁波(ノイズ)が他の機器や通信に悪影響を与えないようにするための規制。太陽光発電システムにおいては、防災行政無線等へ影響を与えるおそれがあることから、総務省から各自治体等へ、CISPR11(第6.2版)に適合した装置を選定するよう、通達が出されている。

低圧連系に適した仕様

● 系統連系技術要件対応で

低圧JET認証取得(CISPR11 第6.2版対応)

低圧連系で求められる新型能動方式に対応した製品として、JET認証を取得しているため、電力会社との系統連系協議をスムーズに進めることができます。また、最新のJET認証では、近年要求の高まっているEMI対応についても、CISPR11 第6.2版の試験内容を含んでいます。

● 絶縁トランス内蔵

日本の低圧三相配電線で一般的な灯動共用のトランスに、外部カップリングトランス等を設けずに直接接続可能です。一般に対地の浮遊容量が多いとされるフィルムタイプ等の特殊な太陽電池でも、安心して接続できます。

高性能・高信頼性

● 高効率

Full SiC構成かつDAB(デュアルアクティブブリッジ)回路の採用で、絶縁型でありながら高効率を実現しています。

● 高速自家消費制御を標準搭載

P3シリーズとして、既存製品のP3A多機能品と同等の高速自家消費制御を搭載しています。P3A機種と混在しての自家消費制御も可能です。

● 重塩害対応

IP55相当のアルミニウム筐体と外部ファンレスで、重塩害地域へも標準仕様のまま適用可能です。

● 主回路電解コンデンサレス

主回路にはフィルムコンデンサを使用し、一般的に寿命が短いとされる電解コンデンサを使用していません。

● お問い合わせ先：インバータ事業部 ソリューション戦略部 環境エネルギー機器企画課 TEL：0930-23-5246

太陽光発電に関するあらゆる製品・技術が集まる日本最大の専門展 「PV EXPO [春]」出展案内

— つながる力で、ものづくりを進化させる —

MECHATROLINK協会「IIFES 2025」出展報告

MECHATROLINK協会は、2025年11月19日(水)～11月21日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて開催された「IIFES2025」に出展しました。

「つながる力で、ものづくりを進化させる」をテーマに、モーション制御技術の進化と製造現場を支える最新の制御機器によるデモンストレーションを展示して紹介しました。また、安川電機を含む6社のメンバー企業が協賛としてブース内に出展し、MECHATROLINK対応製品の紹介を行いました。

今後も、メンバー企業とともにMECHATROLINKの普及活動を積極的に行ってまいります。



日本最大級かつアジア有数の太陽光発電専門展示会「PV EXPO [春] 第22回[国際]太陽光発電展」が2026年3月17日(火)～19日(木)に東京ビッグサイトで開催されます。

約70,000名規模の来場者を誇るPV EXPOは、単なる展示会にとどまらず、世界中から太陽光発電に関わる製造・施工・運用・政策まで、業界全体のサプライチェーンが一堂に会する総合プラットフォームです。政府・自治体、電力事業者、EPC企業、建設会社、住宅メーカーなど、多様なステークホルダーが来場し、最新技術や市場動向を共有する絶好の機会となっています。当社ブースでは、2025年11月にリリースされた新型パワーコンディショナ「Enewell-SOL P3H(9.9kW/10kW)」を中心に、FIT市場の新設・更新に向けたご提案に加え、自家消費市場向けに高速自家消費制御機能による発電電力の最大活用方法をご提案いたします。

さらに、パワーコンディショナ周辺を含めた実証評価への取り組みを紹介し、蓄電池連携による自家消費率の向上やBCP対策を実現するソリューションを展示します。太陽光発電と蓄電の組合せによる電力コスト削減や災害時のレジリエンス強化などの導入メリットを是非ご確認ください。

この機会に是非当社ブースへお立ち寄りいただき、当社のエネルギーソリューションをご覧ください。

会 期 2026年3月17日(火)～19日(木)
10:00～17:00
会 場 東京ビッグサイト
安川電機ブース小間番号：E11-38(東5ホール)
主 催 者 RX Japan 株式会社
U R L <https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/pv.html>



Enewell-SOL P3H(新製品)



Enewell-SOL P3A

MECHATROLINK協会 「第11回 機械要素技術展[名古屋]」出展案内

MECHATROLINK協会は、2026年4月8日(水)～4月10日(金)にポートメッセなごやにて開催されます「第11回 ものづくりワールド [名古屋]」の構成展、「機械要素技術展」に出展します。ブースではMECHATROLINKのモーション制御技術や対応製品のラインアップをご紹介しますので、是非ご来場をお待ちしております。

会 期 2026年4月8日(水)～10日(金) 10:00～17:00
会 場 ポートメッセなごや 第1展示館
MECHATROLINK協会ブース小間番号：8-13
主 催 者 RX Japan 株式会社
U R L <https://www.manufacturing-world.jp/nagoya/ja-jp/about/mtech.html>

ものづくりワールド 名古屋

第11回
機械要素技術展 名古屋

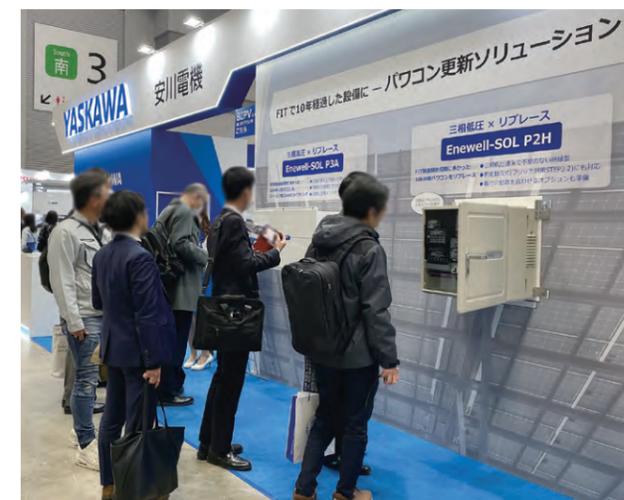
来場登録はこちらから▶



- ご来場には事前登録が必要です。
- 入場は無料です。

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 パートナ拡大推進課 TEL: 04-2962-6359

前回出展の様子



● お問い合わせ先：インバータ事業部 ソリューション戦略部 環境エネルギー機器企画課 TEL: 0930-23-5246

原料から加工製造、包装、流通、資源再利用まで一堂に展示する総合展 「2026中部パック」出展案内

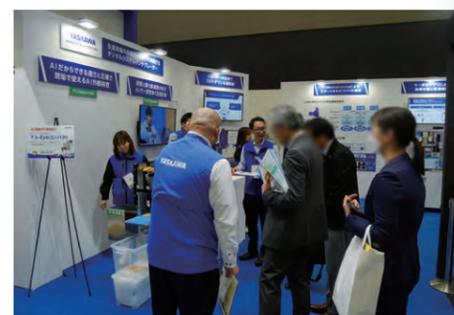
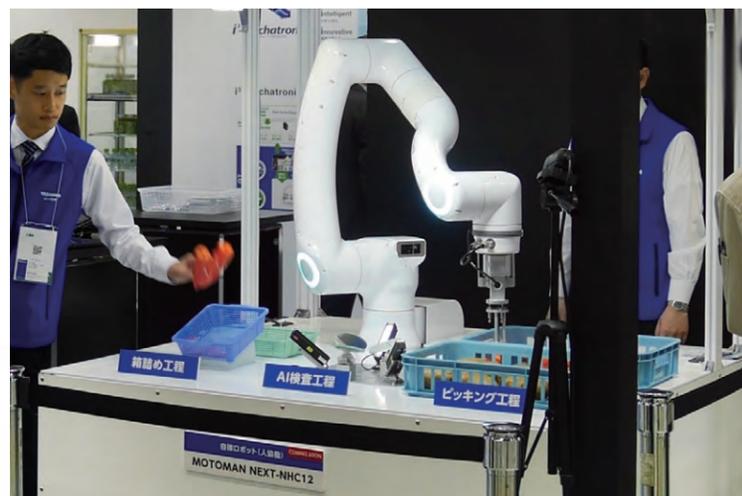
食と包装の技術総合展「2026中部パック」が4月22日(水)～25日(土)の4日間、ポートメッセなごやで開催されます。

当社は「i³-Mechatronicsで新たな価値をリアルな”かたち”に」をテーマに、新型人協働ロボット+CoboPalでのEasy To Useなパレタイズパッケージ、省力化に貢献するデータ活用を強化した用途最適形サーボパック、インバータでブレードの摩耗具合を検知する「止まらない機械・設備」、人が行う目視検査を自動化するAI画像判定ソリューション「Y's-Eye」など、包装・食品ラインの自動化に貢献する製品・ソリューションをご紹介します。是非、安川電機ブースへご来場ください。

会 期 2026年4月22日(水)～25日(土)
10:00～17:00(最終日のみ16:00まで)
会 場 ポートメッセなごや
主 催 者 中部包装食品機械工業会
U R L <https://chubupack.or.jp/>



前回(2024年)の出展の様子



● お問い合わせ先：営業本部 東部営業部 TEL: 0561-36-9314



ニューイヤー駅伝へ向け加速!

陸上部のメンバー紹介や大会結果、スケジュールなど詳しい情報は陸上部公式サイトでご確認ください。



第70回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝2026)が1月1日(元旦)に開催されました。総合順位は12位と目標としていた6位には届きませんでしたが、選手全員の粘り強い走りで一時は7位まで浮上するなど今後につながる場面もあり、チームが確実に前進していると感じさせるレースでした。

個人レースでは、合田椋選手が11月22日(土)に開催された2025八王子ロングディスタンスの10000mで27分48秒22の安川電機陸上部歴代最高記録(以降、安川新記録)を更新。さらに翌週の11月30日(日)に開催された日本体育大学長距離競技

会でも5000mで13分29秒41の安川新記録をマークするなどスピード力に磨きがかかり、チームの頼もしいエース格に成長しました。

12月7日(日)開催の第50回熊本甲佐10マイル公認ロードレース記念大会では、主将の古賀淳紫選手が46分12秒で5位入賞、ルーキーの阿部選手は12位ながら46分25秒の好記録をマークするなど大きな収穫を得ました。

今後も良い結果を届けられるよう精一杯精進してまいります。引き続き選手の応援よろしくお祈りいたします。



ニューイヤー駅伝で7位まで順位を引き上げた九嶋恵舜選手



熊本甲佐10マイル公認ロードレース記念大会で好走した阿部陽樹選手

5000m、10000mの安川記録を更新した合田椋選手



選手コメント

合田 椋

前半シーズンは冬場のケガの影響で苦しみましたが、秋口から調子を上げることができました。特にトラックレースでは2種目で自己記録を更新できたことは大きな自信につながっています。

今後は日本トップレベルで戦う覚悟を持って競技に邁進します。

まだ、人にしかできないと

洗浄前の医療器具には、命を支える現場の緊張と責任が宿っています。形や状態の異なる器具が混在し、洗浄装置への投入と取出しを優先しながら、合間で仕分けを行う。状況は常に変化し、柔軟な判断が求められる。だからこそ、人の手に委ねられてきた仕事です。自律ロボット「MOTOMAN NEXT」は、器具の種類や状態を見分け、仕分けから洗浄装置への投入・取出しまでを担います。人の負担を軽減し、感染リスクとヒューマンエラーを防ぐ。それは、医療現場に“もう一つの信頼できる手”を加えるということ。人にしかできないと思われていた領域へ、私たちはAIとロボテクスで挑み続けます。



こ と 思っていた領域へ

MOTOMAN NEXT

ロボテクスとの融合により、AIは「考える」だけでなく、「動き」「感じ」「判断する」存在へと進化を遂げつつあります。MOTOMAN NEXTは、AIとロボット制御技術が融合した、革新的なソリューションを協創するオープンプラットフォームです。AIやセンサーと連携した自律制御ユニットにより、環境変化をリアルタイムで認識・判断。従来は人の判断や経験に頼っていた工程においても、安定した自動化が可能となり、生産性と柔軟性の両立を実現します。



詳しくは
MOTOMAN NEXT
特設サイトへ

